



公式キャラクターが誕生しました。「あそん」です。

©国立阿蘇青少年交流の家



National Institution For Youth Education

国立青少年教育振興機構

国立阿蘇青少年交流の家

【2024. 4. 17】

「ASO応援 Project」のお願い ～企業様との連携した取組に向けて～



ファミリーキャンプ



ASO 一周 100km チャレンジキャンプ



ボランティア入門塾



早寝早起き朝ごはん普及啓発



全国防災ニュニアリーダー育成合宿



阿蘇の草原キッズ(草原学習)



自然体験活動指導者養成



ジュニアジオガイド講座(ガイド体験)



阿蘇の草原キッズ(野焼き体験)

【本件担当】

国立阿蘇青少年交流の家

次長：山川寿典 または 総務系担当

TEL：0967-22-0834

E-mail：aso-soumu@niye.go.jp

私たちは、地域に愛され、地域に貢献する施設を目指します！

当施設は、令和6年度で開所から60年になり、これまでに延べ700万人以上の方々にご利用いただいています。そしてこの先も、地域における青少年育成や人材育成、社会貢献を推進すべく、主に次のようなミッションを掲げて取り組んでいます。

Mission. 1 子供たちに“体験”をととした学びの提供

豊かな自然、人及び社会と触れ合う体験活動が、青少年の自立心や協調性、道徳心、他人を思いやる心、社会で生き抜く力などを育むことが明らかになっています。私たちは、“体験”をととした青少年の自立をスローガンに、学校をはじめ全年齢期に応じた体験活動を推進しています。

※当施設は、学校やスポーツ団体の利用に限らず、企業等の職員研修や御家族での利用も可能です。



Mission. 2 阿蘇や熊本の特色を踏まえた地域貢献

阿蘇地域は、「世界ユネスコジオパーク」に認定されており、この立地環境を生かした『ジオパーク教育』をテーマに、ジオパーク学習プログラムの発展に貢献しています。

また、火山活動で形成されたカルデラの中には6万人もの人々の暮らしが営まれている世界でも類を見ないこの地域を、適切に保全し、未来につなぐために“世界文化遺産”登録につながる取組を推進しています。



Mission. 3 SDGsの達成に寄与する人材の育成

日本はもとより、世界中で起きている温暖化や気象変動を踏まえ、今、自分達に何ができるのかを自ら考え、行動できる人材を育成するため、身近な水資源や草原などを教材とした学習プログラムを提供しています。

また、地域ESD活動推進拠点として、SDGsの達成に貢献するための方針を定め、2022年4月1日に『SDGs推進宣言書』を掲げました。



国立阿蘇青少年交流の家は SDGsの達成に取り組みます

宣言書

私たち国立阿蘇青少年交流の家は、ESD（持続可能な開発のための教育）を推進し、SDGsの達成に貢献できるように方針を定め、多様な活動場面において取り組み、持続可能な社会の創り手の育成に寄与することを宣言します。

- (1) 職員一人ひとりがSDGsを理解し取組を推進します。
- (2) 研修支援の多様な機会でもSDGsを発信します。
- (3) 教育事業にSDGsの理念を取り入れて展開します。
- (4) SDGsを踏まえて施設の管理運営に取り組みます。

2022年4月1日
国立阿蘇青少年交流の家 職員一同

最近の取組

1. “体験”をととした学びの提供

- コロナ前は、年間 10 万人の利用者がありましたが、コロナにより学校の集団宿泊行事が実施できず、一時期は、2万人にまで減少しました。
- コロナ禍が過ぎ、令和4年度には5万人にまで回復し、[今年度は8万人を目標](#)としています。
- 地元の小中学校や高校をはじめ、県内の多くの小中学校や高校、県外の高校や専門学校にも毎年利用いただいています。
- 当施設の“ウリ”は、[雄大な草原を活用した自然体験活動](#)です。
- 雄大な草原をフィールドとした[オリエンテーリング](#)や[ハイキング](#)、草原に寝転んでの[星空観察](#)では流れ星を見ることがもできます。
- 当施設をご利用いただいた小学校の先生や児童の感想を含む[施設紹介動画](#)も是非ご覧ください。



YouTube

【集団宿泊学習の魅力】

2. 特色を踏まえた地域貢献

- 当施設が掲げる教育テーマ「[ジオパーク教育](#)」をより発展させるため、2021 年 5 月に『[阿蘇ジオパーク推進協議会](#)』と[連携協定](#)を締結しました。
- 阿蘇地域は、2014 年にユネスコ世界ジオパーク加盟の認定を受け、2022 年の再審査を受けるにあたって、当施設も微力ながら各取組の発展に貢献しました。
- 当施設が実施する教育キャンプ等の企画立案に際して、[阿蘇ジオパーク推進協議会](#)と協働したり、教育キャンプ(ジュニアジオガイド講座)で[阿蘇ジオパーク](#)について学んだ子供達が、大観峰で観光客にガイドしたりする機会を設けるなどし、[若い世代にバトンをつなぐ役割](#)を担ってきました。
- 今後は、阿蘇地域が“[世界文化遺産](#)”として登録されるため、草原保全や水資源の大切さを学ぶ活動プログラムをととして、子供達に郷土を愛する心を育みます。
- [台湾](#)をはじめ海外の青少年を積極的に受入れ、[国際交流の場](#)としての利活用も促進しています。



3. SDGsの達成に寄与する人材育成

- SDGsの達成に貢献するため、「SDGsワーキングチーム」を設置し、2022 年 4 月に『[SDGs推進宣言書](#)』を掲げました。
- SDGsをより身近なものとして考えることができるよう、新たな活動プログラムとして、[「SDGs検定ラリー」を開発](#)しました。
- また、SDGsの達成に向けては、私たちだけでなく、様々な機関や団体等との連携は欠かせません。2022 年 12 月には『[阿蘇医療センター](#)』と、2023 年 11 月には『[阿蘇広域行政事務組合消防本部](#)』との[連携協定を締結](#)し、利用者の安全安心はもとより、我々職員自らの資質能力の向上を目指しています。

4. その他

- [草原保全や野焼きの大切さを学ぶ学習プログラム「草原キッズになろう！」](#)においては、地域住民をはじめ、より多くの方に当所の取組を周知するため、[初めての『クラウドファンディング』に挑戦](#)し、目標を上回るご支援をいただきました。
- [令和 6 年度に 60 周年](#)を迎えるにあたって、より多くの方々に当所を知ってもらうため、マスコットキャラクターのデザインを[県内の高校生や大学生等に公募](#)し、[65 点の応募作品](#)から[公式マスコットキャラクター『あそのん』が誕生](#)しました。



Aコース 《応援募金:使途を定めず、当施設の運営への応援》

- 開所 60 年を迎える中での老朽化が随所に見られる中で、利用者が安全安心して過ごすことができるよう環境整備や修繕等に活用させていただきます。
- その他、利用者の快適性や利便性を考慮し、必要な物品等に活用させていただきます。
- 1口 5,000 円の寄附とさせていただきます。(口数の上限はありません。)
- 寄附募集(寄附受付)期間 通年、随時受け付けています。

Sコース 《応援募金:スタッフユニホームでの応援》

※ 当 S コースは、ご好評により終了いたしました。
たくさんのご応募ありがとうございました。

- 当施設の運営や取組に対して賛同・応援いただける企業様を募集します。
- 応援募金として寄附いただいた企業様のお名前を、スタッフユニホームに掲載させていただきます。
- 企業名の掲載にあたっては、100,000 円以上の寄附とさせていただきます。
- ユニホームは 3 年を目途に更新します。(1 回の寄附で夏服・冬服の両方に 3 年間を目途に掲載します。)
- スケジュールは以下のとおりです。
- 【募集(寄附受付)期間】—〈第 1 期〉2024 年 1 月 9 日～2 月 29 日
- 〈第 2 期〉2024 年 3 月 11 日～3 月 31 日(先着 3 社まで)
- 【ユニホーム作成期間】—2024 年 4 月 1 日～4 月 30 日頃【夏服】※冬服は秋頃に作成します。
- 【企業名掲載期間】—2024 年 5 月 1 日頃～2027 年 4 月 30 日頃【夏服】—
- ※冬服は秋頃に作成後、掲載します。

※ユニホームの掲載位置による金額の差異は設けません。

※掲載位置は、当所で決定させていただきます。



(イメージ:いずれも両袖2社・背面3社)

Oコース 《応援物品寄附:寄付金としてではなく、物品提供による応援》

- 当施設とご相談いただき、各企業様が取り扱う物品等を活用させていただきます。
- 寄附募集(寄附受付)期間 通年、随時受け付けています。

応援いただいた企業様への返礼について

- ご支援者として、企業様を当施設ホームページでご紹介します。
【参考:当施設ホームページの閲覧数 114,380 件 (令和 5 年 4 月～10 月集計)】
- 企業様の名称に加え、CSR活動やSDGsの取組等の資料等がありましたらを当施設に掲示します。
【参考:当施設の年間利用者数 84,000 人(令和 5 年度見込み)】
- 当施設のSNSにおいて、企業様の名称を#(ハッシュタグ)で掲載します。
- 当施設発行の「利用の手引き」や「活動プログラム集」、「教育事業報告書」に企業様を掲載します。
- 当施設主催のイベントチラシや配布資料等に企業様を掲載します。

税制上の優遇について

- 独立行政法人国立青少年教育振興機構国立阿蘇青少年交流の家への寄附となり、当施設が寄附金の受付及び活動報告、領収書発行・郵送をおこないます。
- 当機構は税制上の特定公益増進法人として定められていますので、寄附をされた個人や法人は、税制上の優遇措置を受けることができます。寄附金の領収書を添えて税務署にて確定申告または還付申告を行ってください。



©国立阿蘇青少年交流の家



National Institute For Youth Education
国立青少年教育振興機構
国立阿蘇青少年交流の家

「ASO応援 Project」へのご支援について

Aコース: 応援募金(寄付金)によるご支援/使途の指定なし

- 安全安心のための環境整備、老朽化した設備の修繕、必要物品の購入等に活用させていただきます。
- 1口 5,000 円(口数の上限はありません。) ※通年、随時受付
- 専用の「払込取扱票」からご寄附ください。【郵送いたします】

~~Sコース: 応援募金(寄付金)によるご支援/ユニホームの作成、その他~~

- ~~○年間 80,000 人以上の利用者の目に触れる職員のユニホームに企業名を掲載させていただきます。~~
- ~~○1回 100,000 円以上のご寄附をされた企業名をユニホームに掲載します。~~
- ~~○専用の「払込取扱票」からご寄附ください。【郵送いたします】~~

【スケジュール】

・募集(寄附受付)期間

〈第1期〉

—2024 年 1 月 9 日～2 月 29 日

〈第2期〉—

—2024 年 3 月 11 日～3 月 31 日(先着 3 社まで)

・ユニホーム作成期間—2024 年 4 月 1 日～4 月 30 日頃【夏服】※冬服は秋頃に作成します。

・企業名の掲載期間—2024 年 5 月 1 日頃～2027 年 4 月 30 日頃【夏服】

————※1 回の寄附で夏服・冬服の両方に 3 年間を目途に掲載します。

————※冬服は秋頃に作成後、掲載します。

【掲載方法】

→企業名(ロゴマークも可)は刺繍ではなく、フルカラー転写プリントを予定しています。

——※印刷によっては、指定通りの発色にならない場合がありますので、予めご了承ください。

→掲載面積は、縦 5cm×横 10cmの長方形サイズ以内とします。

→掲載(印刷)に必要な版データをご提供いただきます。

→ユニホームの右腕に1社、左腕に1社、背中に3社程度を予定しています。

→掲載箇所については、当施設で決定させていただきます。(抽選によります。)

【お申込みから完成まで】

→①メールにて、「Sコース希望」の旨、企業名やご連絡担当者様をお知らせください。

→②その後のご連絡の中で、「ご寄附予定日」「掲載箇所のご希望(ご希望がある場合)」などを確認します。

※ 当 S コースは、ご好評により終了いたしました。
たくさんのご応募ありがとうございました。
A コース、O コースは随時受付中です。
皆様のご支援よろしくお願いいたします。

○コース:物品提供(物品寄附)によるご支援

- 当施設とご相談いただき、企業様が取り扱う物品等を活用させていただきます。
- お取り扱いではない物品の寄附も受け付けております。

(例)「感染症が心配」→ アルコール消毒やハンドソープのご寄附

「道徳観も身に付けてほしい」→ 清掃用具のご寄附

「テント泊の楽しみを知ってほしい」→ テントのご寄附 等

- 各企業様の“想い”を大事にして、物品等を有効に活用させていただきます。

応援いただいた企業様への返礼について

- ご支援者として、企業様を当施設ホームページでご紹介します。
【参考:当施設ホームページの閲覧数 114,380 件 (令和 5 年 4 月～10 月集計)】
- 企業様のCSR活動やSDGsの取組等を当所でご紹介します。
- 当施設のSNSにおいて、企業様の名称を#(ハッシュタグ)で掲載します。
- 当施設発行の「利用の手引き」や「活動プログラム集」、「教育事業報告書」に企業様を掲載します。
- 当施設主催のイベントチラシに企業様を掲載します。
- イベント時に配布する資料等に企業様を掲載します。

税制上の優遇について

- 独立行政法人国立青少年教育振興機構国立阿蘇青少年交流の家への寄附となり、当施設が寄附金の受付及び活動報告、領収書発行・郵送をおこないます。
- 独立行政法人国立青少年教育振興機構は税制上の特定公益増進法人として定められていますので、寄附をされた個人や法人は、税制上の優遇措置を受けることができます。寄附金の領収書を添えて税務署にて確定申告または還付申告を行ってください。

寄附金の払込取扱票について

- 専用の払込票を郵送しますので、お送り先等をお知らせください。

【本件担当】

国立阿蘇青少年交流の家

次長：山川寿典 または 総務系担当

TEL：0967-22-0834

E-mail：aso-soumu@niye.go.jp